

岡田ゆき子のお約束



「コロナと物価高から
市民の暮らしを守る名古屋へ」

- ☺ 医療と保健所・センター体制の強化
- ☺ 小中学校給食の無料化・中学校自校式給食の実現へ
- ☺ 大学生給付型奨学金制度・奨学金返還支援制度の創設
- ☺ 中小企業ゼロゼロ融資の相談窓口設置
- ☺ 高すぎる国保料、
介護保険料の引き下げ
- ☺ 敬老パスの利用回数制限の撤廃



応援メッセージ



めいほく保育園 園長
境原 康代

地域のみなさんの困りごととはとにかく「困ったら、ゆっこにきこう」。地道にコツコツと歩まれ、障害をもつ娘さんの存在もきつと「誰もが安心して生活できる社会に」の原動力になっていると思います。

名古屋の保育料は岡田さんが議員になってから一度も値上げなし。声を上げれば政治が変わる貴重な体験もしました。子どもたちにもう1人保育士を。学校給食は無料化に。健やかに育ちあえる社会に日本共産党岡田ゆき子さんを応援します。

応援メッセージ



北医療生協 小児科医
森 英一

共産党が創立されてから100年。その間ずっと、大企業やお金持ちだけが潤う世の中ではなく、まじめに働く人々が豊かに、幸福に生きていける社会の実現のために、ぶれずに住民の声を政治に活かしてきました。市議選では岡田ゆき子さんを応援します。

岡田ゆき子

名古屋市会議員



だれもが等しく大切にされる名古屋市政へ

「どんな困難でも打開する道はある、あきらめない」「自己責任ではなく生きにくい社会を変える」

——22歳で日本共産党と出会い、

看護師24年、ケアマネジャー10年を通じて培われた私の信念です。

市議12年間はさらに「市民と共同する」ことの力強さをたくさん体験させていただきました。

コロナ禍を経験し、「どんな時も、いのちと人権が最優先の市政」の実現が強く求められます。

引き続き市議会で働かせてください。

北区
民報

2022年秋号外 日本共産党の見解を紹介します。
発行/日本共産党北区委員会
名古屋市北区御成道1-15 ☎052-912-6096

岡田ゆき子
ブログ▶



岡田ゆき子 PROFILE

看護師、ケアマネジャー出身。よりそい、あきらめない。1965年京都府生まれ、岐阜県育ち。
市会議員12年、党政審委員長。



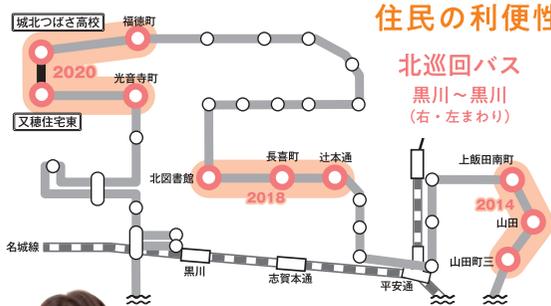
憲法まもる、くらしに生かす
100年 日本共産党

北巡回バスの路線の改善



加藤 豊さん

加藤 北巡回バスも随分便利になりました。北區は大規模な団地が多いのに、近くにバス停がないところが結構あったんです。そこで、私が住んでいる新山田北荘や上飯田南荘、辻町住宅、福德荘等の地域のみなさんと協力して署名運動を行い、岡田さんと一緒に交通局に何度も申し入れました。2014年に上飯田南町バス停ができ、「便利になった」と署名に協力した方々から感謝されます。



住民の利便性を追求する中で改善

岡田 この経験が18年20年と2度の改善にもつながっています。利用が増え、路線改善のために事業収益は上がりました。まだ、巡回バスの本数増や楠巡回の改善など、引き続き課題が残っています。

敬老パスの利用拡大



辻野 淳子さん

辻野 味鏡地域で岡田さんが当選した2011年から、「上飯田連絡線でも敬老パスの利用を」と東味鏡地域で1100人を超える署名を集めたことが転機になり、市議会で請願が採択されました。その後も年に2~3回の市政懇談会で岡田議員が経過を報告し、運動を支えてくれました。足掛け7年かかったけど、敬老パスが使えるようになりました。今でも「岡田さんのおかげだ」との声が寄せられます。



東味鏡の住民運動が私鉄拡大の契機に

岡田 2011年は河村市長が敬老パスの負担増を含む見直しをしようとした年でもありました。市民の運動と議会論戦で改悪の流れを跳ね返し、その後味鏡での運動が今の私鉄・民間バスへの利用拡大につながった画期的な成果です。同時に、年間730回の利用回数制限が導入されました。河村市長や自民・公明・民主・減税日本は事業費を抑えるためと言いますが、コロナの影響で事業費は減っています。回数制限をなくすため引き続き議会で仕事させていただきたいです。



岡田ゆき子議員の12年の歩み

敬老パスの利用拡大、巡回バスの運行改善、コロナ対策、子ども医療費などで岡田議員と一緒に運動してきたみなさんと語り合いました。

国会議員と連携したコロナ対策



甲斐 美矢子さん

甲斐 医療や介護の現場はこの2年半コロナで本当に大変でした。行政からの情報がなかなか届かない中で、岡田議員からの情報提供や毎週の事務所だよりは役に立ちました。発熱外来を開設する際も、岡田議員が国会議員と連携し助成金を使えることがわかり利用しました。

行政を動かす日本共産党の議員の値打ち

岡田 医療や介護の現場の声を直接聞き、リアルな実態を示し具体的な提案を市に求めてきました。現場のみなさんと結びついて行政を動かす日本共産党の議員の値打ちを私自身が強く感じています。コロナ禍はまだ続きます。やるべき課題は山積んでいます。



子ども医療費無料化



小久保 広海さん

小久保 小学生の子どもがいます。18歳まで医療費が無料って本当にありがたいです。学校給食費の無料化もぜひ名古屋で実現してほしいです。



政令市トップの18歳まで医療費無料化実現 次は学校給食無料化を

岡田 15年ほど前の名古屋市は医療費助成は、小学校入学前まで、所得制限がありました。共産党以外が所得制限撤廃と助成拡大に反対するなか、「もっと拡大して！」という子育て世代の声に応じて署名運動にとりくみ、所得制限なしで適用年齢を徐々に拡大。2022年1月からはついに18歳から通院も無料化が実現。政令市唯一の制度です。次は小中学校の学校給食の無料化へ、中学校の自校式の給食とセットで実現を目指し、みなさんと力を合わせましょう。